

国 語

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい国語
11	学 図	みんなと学ぶ
15	三 省 堂	小学生の国語 小学生の国語 学びを広げる
17	教 出	ひろがる言葉 小学国語
38	光 村	国語

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元・題材の目標の示し方	各単元における目標の示し方
		② 学習の手引きの示し方	三領域（話す・聞く、書く、読む）にかかわる具体的な学習
		③ 伝統と文化に関する内容の記述	伝統的な言語文化に関する単元の数・単元名・取り上げられている古典等
(イ)	学習方法の工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	身近な話題や社会の出来事を取り上げた単元名、題材、活動内容
		⑤ 課題解決的な学習を実施するための工夫	課題設定と解決方法の手引きの対応
		⑥ 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	構成、ワークシート・表、評価活動
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 単元・題材や資料等の配列	配列の特徴・総単元数・三領域一事項ごとのページ数
		⑧ 発展的な学習の扱い方	発展的な学習の扱い方・教材の印の有無、教材名、ページ数、種類
(エ)	内容の表現・表記	⑨ 本文記述との適切な関連付けがなされた図表の活用	文章とグラフや表の関連について考えさせる記述
		⑩ 巻末資料の示し方	巻末資料の示し方と三領域一事項ごとの内容
(オ)	言語活動の充実	⑪ 知識や経験に照らして自分の考えをまとめて論述する活動の工夫	「手紙を書く活動」、「報告文を書く活動」、「詩、物語、随筆等を創作する活動」の単元名
		⑫ 学校図書館機能の活用	学校図書館の活用の仕方について示されている記述の例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元・題材の目標の示し方
方法	各単元における目標の示し方

第6学年 読むこと 説明文				
	単元名	題材(教材)	目標	目標の示し方
			☆は単元の目標 □は学習目標	
東書	○ 自分の考えを明確にしながら読もう	○ 「イースター島にはなぜ森林がないのか」	☆ 自分の考えを明確にしながら読もう □ 筆者の主張を読み取って、それに対する自分の考えを持ちましょう。	☆ 各単元の扉に目標を示している。 □ 具体的な目標を示している。
学図	○ 主張を読み取ろう	○ 「自分の脳を自分で育てる」	☆ 主張を読み取ろう □ 事実と考えを整理しながら、筆者の主張をとらえよう。	☆ 各単元の冒頭に目標を示している。 □ 具体的な目標を示している。
三省堂	○ 宇宙時代を生きる	○ 「宇宙時代を生きる」	☆ 筆者の思いをとらえ、自分の考えを深めよう □ 筆者の思いをとらえ、自分の考えを深めよう。	☆ 各単元の冒頭に目標を示している。 □ 具体的な目標を示している。
教出	○ 情報を深める	○ 「日本語をコンピューターで書き表す」	☆ 情報を深める □ 自分の興味・関心に応じて、内容を的確におさえて読みましょう。 □ 目標に応じて、必要な資料を利用しましょう。	☆ 各単元の冒頭に目標を示している。 □ 具体的な目標を示している。
光村	○ 文章と対話しながら読み、自分の考えをもとう	○ 「感情」 ○ 「生き物はつながりの中に」	☆ 文章と対話しながら読み、自分の考えをもとう □ 筆者は読者に何を考えてもらいたいのだろう。筆者の意図をとらえ、自分の考えをもとう。	☆ 各単元の冒頭に目標を示している。 □ 具体的な目標を示している。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②学習の手引きの示し方
方法	三領域（話す・聞く、書く、読む）にかかわる具体的な学習

第6学年 読むこと 説明文			
	題材（教材）	<学習の手引きの表記>及び内容	◎具体例 □解説
東書	○ 「イースター島にはなぜ森林がないのか」	<てびき> ○ 事実と意見を区別しながら読む。 ○ 原因とその具体例についてノートに整理する。 ○ 文章の構成を考え、まとめりごとの内容を図に整理する。 ○ 筆者の主張を読み取り、それに対する自分の考えをノートにまとめる。 ○ 筆者の主張について話し合う。	◎ 読み取りの具体的な視点を示している。 □ 「言葉の力」の枠内に、「自分の考えを明確にしながらか読む」ことを示している。
学図	○ 「自分の脳を自分で育てる」	<学習のてびき> ○ 事実をとらえてまとめる。 ○ 実験と結果を表にまとめ、筆者の考えをとらえる。 ○ 自分の考えをまとめて発表し合う。	◎ 実験と結果を整理するための表を示している。
三省堂	○ 「宇宙時代を生きる」	<考えるために> ○ 強く心に残ったことや考えたことを話し合う。 ○ 筆者の主張を支える理由をノートにまとめる。 ○ 筆者の主張に対する考えを話し合う。 ○ 関連した図書を読み、紹介する。	◎ 次ページに、関連した図書を示している。
教出	○ 「日本語をコンピューターで書き表す」	<学習のてびき> ○ 題材に関連した自分の経験を話し合う。 ○ 書かれている内容について説明する。 ○ 内容に関連して、自分の考えたことや感じたことを話し合う。	□ 「ここが大事」の枠内に、「知識や経験と比べながら読む」ことについて示している。
光村	○ 「感情」 ○ 「生き物はつながりの中に」	<筆者の意図をとらえ、自分の考えをもとう> ○ 筆者の意図をとらえるために、表現の工夫に着目してくわしく読む。 ○ 書かれている内容や筆者の考えについて、自分が考えたことを友達と交流する。	◎ 「考えたこと」の例を吹き出しで3点挙げている。 □ 「たいせつ」の枠内に、「筆者の意図をとらえ、自分の考えをもつには」を示している。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③伝統と文化に関する内容の記述
方法	伝統的な言語文化に関する単元の数, 単元名, 取り上げられている古典等

	学年	単元 の数 (ページ数)	単元名	取り上げられている古典等
東 書	第1・2 学年	4 (32)	<ul style="list-style-type: none"> ○ むかしばなしをたのしもう ○ 言い伝えられているお話をしろう ○ むかし話を楽しんで読もう ○ おばあちゃんに聞いたよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ももたろう」, 「はなさかじいさん」等 ・「でいだらぼっちのお話」, 「いなばの白うさぎのお話」等 ・「かさこじぞう」 ・十二支, いろはうた, 春の七草, 小の月
	第3・4 学年	4 (23)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 慣用句を使ってみよう ○ 俳句に親しもう ○ 「ことわざブック」を作ろう ○ 「百人一首」を声に出して読んでみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ねこの手もかりたい」「ねこのひたい」等 ・与謝蕪村や村上鬼城等の俳句 ・ことわざ「さるも木から落ちる」「石の上にも三年」等, 故事成語「五十歩百歩」「蛇足」「漁夫の利」 ・能因法師や持統天皇等の短歌
	第5・6 学年	8 (44)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 古文を声に出して読んでみよう ○ 詩と俳句を味わおう ○ 古文に親しもう ○ 漢文を読んでみよう ○ 子ども句会を開こう ○ 言葉は変わる ○ ふるさとの良さを文章で伝えよう ○ 伝えよう大切にしたい名言 	<ul style="list-style-type: none"> ・「竹取物語」, 「徒然草」, 「平家物語」 ・松尾芭蕉や高浜虚子等の俳句 ・「枕草子」 ・「百聞不如一見」「聞一以知十」等 ・「竹取物語」 ・安城の三河万歳 ・「天は人の上に人をつくらず, 人の下に人をつくらず」「和をもって貴しとす」等
学 図	第1・2 学年	5 (36)	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろなおはなしをききましよう ○ むかしばなしをよもう ○ むかしの物語をたのしもう ○ ようすを思いうかべよう ○ お話を作ろうーつづき落語ばなしを作ろうー 	<ul style="list-style-type: none"> ・「かもとりごんべえ」 ・「うみの水はなぜしょっぱい」 ・「ヤマタノオロチ」 ・「かさこじぞう」 ・「けちなけちべえさん」
	第3・4 学年	4 (16)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉のリズムを感じてみよう ○ 言葉から風景を想像しよう ○ すじ道を立てて書くー負けるが勝ちー ○ 言葉のいずみーことわざ, 故事成語, 慣用句ー 	<ul style="list-style-type: none"> ・松尾芭蕉や与謝蕪村等の俳句 ・山部赤人や小式部内侍等の短歌（「百人一首」より） ・ことわざ「負けるが勝ち」「急がば回れ」等 ・ことわざ「鶉のまねをするからす」「石の上にも三年」等, 故事成語「五十歩百歩」「蛇足」等, 慣用句「ねこのひたい」「ねこの手も借りたい」等
	第5・6 学年	6 (32)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉の文化に親しもう ○ 随筆を書こうーわたし風「枕草子」ー ○ 言葉のいずみー文語と口語ー ○ 短歌と俳句を作ろう ○ 言葉のリズムやひびきを楽しもうー文語詩を味わおう, 漢詩を味わおうー ○ 詩を書こうー「連詩」を発見するー 	<ul style="list-style-type: none"> ・小野篁の短歌（「百人一首」より）, 「宇治拾遺物語」 ・「枕草子」 ・「おぼろ月夜」歌詞 ・良寛や小林一茶の俳句 ・島崎藤村「やしの実」, 漢詩「尋胡隱君」 ・宇宙連歌, 宇宙連詩

三省堂	第1・2学年	3 (22)	<ul style="list-style-type: none"> ○ おはなしきかせて ○ むかしばなしをたのしもう ○ むかし話を楽しもう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「うらしまたろう」、「ももたろう」、「つるのおんがえし」 ・「いなばの白ウサギ」 ・「かさこじぞう」
	第3・4学年	5 (18)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 何をしているのかな ○ 楽しい書き方を考えようーカルタを作ろうー ○ 落語 じゅげむ ○ 声に出して読もうー短歌ー ○ 想ぞうをふくらませようー故事成語の物語ー 	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣人物戯画絵巻 ・いろはガルタ ・「じゅげむ」 ・柿本人麻呂や紀友則等の短歌 ・「漁夫の利」「矛盾」等
	第5・6学年	6 (28)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語辞典で受けつぐ言葉の文化 ○ 狂言 しびり ○ 表現のよいところを見つけ合おうー句会を楽しもうー ○ 場面の様子と自分の思いを書き分けようー自由な発想で 随筆ー ○ 声に出して読もうー漢文ー ○ 表現のくふうを楽しもうー短歌を作るー 	<ul style="list-style-type: none"> ・慣用句・ことわざ「板につく」「情けは人のためならず」等 ・「しびり」 ・春の季語、冬の季語 ・「徒然草」、「枕草子」 ・「論語」 ・俵万智や正岡子規等の短歌
教出	第1・2学年	6 (38)	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろなほんがよみたい ○ おはなしのくにーおはなしをみつけようー ○ むかしのおはなしをたのしむ ○ むかしのおはなしをよむ ○ むかしのお話を楽しむ ○ 「お話びじゅつかん」をつくらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ずいとんさん」 ・「うらしまたろう」、「おむすびころりん」等 ・「天にのぼったおけやさん」 ・「いなばのしろうさぎ」 ・「かさこじぞう」 ・「だいくとおにろく」
	第3・4学年	5 (37)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語のひびきにふれるー俳句に親しむー ○ 日本語の文化に親しむーことわざ・慣用句ー ○ 日本語のひびきにふれるー短歌の世界ー ○ 日本の文化に親しむー故事成語ー ○ 本の世界を広げて読むーぞろぞろ(落語)ー 	<ul style="list-style-type: none"> ・山崎早希子や小林一茶等の俳句 ・ことわざ「さるも木から落ちる」「善は急げ」等、慣用句「ほねがおれる」「馬が合う」等 ・柿本人麻呂や藤原敏行等の短歌 ・故事成語「五十歩百歩」「漁夫の利」等 ・「ぞろぞろ」
	第5・6学年	6 (34)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語のひびきを味わおうー漢文に親しむー ○ 思いをこめて ○ 日本の文化を考えるー「物語」を楽しむー ○ 日本語のひびきを味わおうー春はあけぼのー ○ 日本の文化を考えるー言葉は時代とともにー ○ 俳句・短歌を作ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩「春暁」、「静夜思」、「論語」、「大学」 ・歴史的かなづかい ・「竹取物語」、「平家物語」 ・「枕草子」 ・「坊ちゃん」、「杜子春」、正岡子規の俳句や短歌、山部赤人や柿本人麻呂の短歌（「万葉集」より）、「論語」 ・児童作品の例

光 村	第1・2学年	9 (48)	<ul style="list-style-type: none"> ○ おはなしよんで ○ おむすびころりん ○ きいてたのしもう（第1学年で1単元，第2学年で2単元） ○ むかしばなしがいっぱい ○ あつまれ，ふゆのことば ○ おはなしをたのしもう ○ きせつのことば－たのしいふゆ－ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「だいくとおにろく」 ・「おむすびころりん」 ・「まのいいりょうし」，「いなばの白うさぎ」，「三まいのおふだ」 ・「さるかにかっせん」，「ももたろう」等 ・「おぞうに」や「たこあげ」等の言葉を使ったかるた ・「たぬきの糸車」 ・十二支，春の七草，いろはかるた
	第3・4学年	17 (51)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 聞いて楽しもう（各学年1単元ずつ） ○ 声に出して楽しもう（各学年2単元ずつ） ○ 「ことわざブック」を作ろう ○ かるた ○ 慣用句 ○ 季節の言葉（各学年4単元ずつ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ばけくらべ」，「額に柿の木」 ・良寛や松尾芭蕉等の俳句や短歌，いろは歌 ・ことわざ「花よりだんご」「犬も歩けばぼうに当たる」等 ・いろはかるた，百人一首 ・慣用句「火花を散らす」「馬が合う」等 ・正岡子規や小林一茶等の俳句や短歌，こいのぼりや田植え等季節の行事にかかわる言葉
	第5・6学年	18 (65)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 聞いて楽しもう（各学年1単元ずつ） ○ 声に出して楽しもう（第5学年2単元，第6学年1単元） ○ 伝統文化を楽しもう－伝えられてきたもの－ ○ 短歌を作ろう－たのしみは－ ○ 「とんぼ」の俳句を比べる ○ ものの見方を広げよう－「鳥獣戯画」を読む－ ○ 言葉について考えよう－言葉は動く－ ○ 季節の言葉（各学年4単元ずつ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「雪女」，「河鹿の屏風」 ・「竹取物語」，「枕草子」，「平家物語」，「論語」，福澤諭吉「天地の文」 ・「狂言 柿山伏」，山本東次郎「柿山伏について」 ・橘曙覧の短歌 ・松尾芭蕉や夏目漱石等の俳句 ・「鳥獣人物戯画」 ・「枕草子」 ・渡辺水巴や山口素堂等の俳句や短歌，月の呼び方，漢詩「春暁」「静夜思」

観点	(イ) 学習方法の工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	身近な話題や社会の出来事を取り上げた単元名、題材、活動内容

第6学年 書くこと			
	単元名	題材	活動内容
東書	○ 上巻 ・「わたしの意見」を書こう	○ 「わたしの意見」を書こう	○ 自分たちの生活を振り返り、考えたことを文章に書き提案する。
	○ 下巻 ・ふるさとのよさを文章で伝えよう	○ ふるさとのよさをしょうかいしよう	○ これまでにふるさとについて学習してきたことを振り返り、パンフレット、新聞、文集などにして紹介する。
学図	○ 上巻 ・しょうかい文を書こう	○ 委員会活動をしょうかいしよう	○ 自分の参加している委員会の活動と魅力を紹介する文章を書く。
	○ 下巻 ・レポートをまとめよう	○ 卒業レポートを書こう	○ 自分が選んだテーマについて、今までに学んできた方法で調べ、文章にまとめる。
三省堂	・表現の効果を考えて書こう	○ よさを伝える広告	○ 自分の身近にある物を対象に、よさを伝えるキャッチコピーと広告の文章を書き、読み合う。
	・自分の意見を明確にして書こう	○ 説得力のある意見	○ 日々の生活や学習の中で、関心のある事柄について自分の意見を文章に書いて伝える。
教出	○ 上巻 ・学校案内パンフレットを作ろう	○ 学校案内パンフレットを作ろう	○ だれに向けて、どのようなことを伝えたいかを考えて、自分たちの学校案内パンフレットを作る。
	○ 下巻 ・多様な見方をもとに考えを深める	○ 意見文を書こう	○ 自分が見つけた課題について、理由や根拠を踏まえ、考えを筋道を立てて述べる文章を書く。
光村	・町のよさを伝えるパンフレットを作ろう	○ ようこそ、わたしたちの町へ	○ おすすめの場所などを記した、自分たちの町のパンフレットを作る。
	・自分の考えを明確に伝えよう	○ 「平和」について考える	○ 「平和」について、自分の考えを確かにするために調べ、意見文を書いたりスピーチしたりする。

観点	(イ) 学習方法の工夫
視点	⑤課題解決的な学習を実施するための工夫
方法	課題設定と解決方法の手引きの対応

第5学年（上巻） 読むこと 物語文	
東 書	課題 「単元名」 自分の思いが伝わるように声に出して読もう 「題材」 「だいじょうぶ だいじょうぶ」 ・物語を読んで感じたことや考えたことが表れるように、声を出して読みましょう。
	手 引 き 「てびき」 ○ 物語を朗読しよう。 ・「くり返して出てくる「だいじょうぶ、だいじょうぶ。」という文を、それぞれどのように読んだらよいか考えましょう。 ・グループになって、おたがいの朗読を聞きあいましょう。
学 図	課題 「単元名」 人物の心情をとらえよう 「題材」 「トーチカと飴」 ・人物の考えをたしかめながら読もう。
	手 引 き 「学習の手引き」 ○ 主人公の人物像をとらえる。 ○ 登場人物の考えをまとめる。 ○ 自分の考えをまとめる。
三省 堂	課題 「題材」 「カニモトくん」 ・表現を味わい、ゆたかに想おうしよう。
	手 引 き 「考えるために」 「ひとりで考えよう→みんなで考えよう→深めよう」と考える手順を示している。 ○ おもしろかったこと、心に残ったところを発表する。 ○ 登場人物の様子を比べて話し合う。 ○ 登場人物の気持ちについて考える。 ○ 登場人物になったつもりで日記を書く。
教 出	課題 「単元名」 心を見つめて読む 「題材」 「五月になれば」 ・中心人物の心情の変化を、場面の様子とともに読みましょう。
	手 引 き 「学習のてびき」 ○ 文章の中から「時を表す言葉」を見つけ、物語の流れをノートに整理して発表する。 ○ 登場人物の様子や心情のちがいを話し合い、心情が大きく変わったところを発表する。 ○ 文章の表現の効果を考えながら音読する。
光 村	課題 「単元名」 人物のかかわり合いを読み、感想を書こう 「題材」 「のどがかわいた」 ・登場するのは、どのような人物だろう たがいにどのようにかかわり合うのだろう。
	手 引 き ○ 人物像を読み取る。 ○ 登場人物の関係の変化を読み取る。 ○ 感想を書き、読み合う。

観点	(イ) 学習方法の工夫
視点	⑥見通しを立てたり，振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方法	構成，ワークシート・表，評価活動

第3・4学年 書くこと 報告文				
	単元名・題材	報告の内容	内 容	
東 書	○ 第3学年下巻 調べたことを整理して書こう ・「研究レポートを書こう」	○ 昔の遊び	構成	○ 調べることを決める。 ○ 調べる計画を立てる。 ○ いろいろなやり方で調べる。(インタビュー・図書資料) ○ 分かったことを整理する。 ○ 研究レポートを書く。 ○ 感想を伝え合う。
			ワークシート・表	○ メモ，組み立て表
			評価活動	○ レポートを読み合い，感想を伝え合う。
学 図	○ 第3学年下巻 調べたことをほうくしよう ・「今と昔をくらべよう」	○ 昔の遊びと今の遊び	構成	○ くらべてみたいことを探す。 ○ 調べる。 ○ 書くことの内容をはっきりさせる。 ○ 組み立て表をもとに文章にまとめる。
			ワークシート・表	○ カード，組み立て表
			評価活動	○ 友達と交換して読み合う。
三 省 堂	○ 第4学年 組み立てを考えて書こう ・「クラスのことを調べよう」	○ 好きな遊び	構成	○ 「しつもんカード」を使って調べる。 ○ 文章にまとめる。 ○ 報告を読み合う。
			ワークシート・表	○ しつもんカード，表，グラフ
			評価活動	○ 友達と読み合い，感想を発表し合う。
教 出	○ 第4学年上巻 事実を正しく伝える ・「見学したことを報告しよう」	○ ごみ処理工場の見学	構成	○ 調べたいことを見つける。 ○ 課題にそってメモを作る。 ○ 調べたことを整理して組み立て表を作る。 ○ 組み立て表をもとにして報告文を書く。 ○ 文章を見直す。
			ワークシート・表	○ メモ，組み立て表，原稿用紙の使い方
			評価活動	○ 発表し，感想や意見を交流する。
光 村	○ 第4学年上巻 調べたことを報告する文章を書こう ・「読書生活について考えよう」	○ 読書生活	構成	○ 調べることを決める。 ○ アンケート調査をする。 ○ 報告書を作る。 ○ 発表して，クラス全体で考える。
			ワークシート・表	○ 活動の流れの図，グラフ，アンケート用紙
			評価活動	○ 発表し，クラス全体で考える。

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦単元・題材や資料等の配列
方法	配列の特徴・総単元数・三領域一事項ごとのページ数

	配列の特徴	分量（ページ数）						
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上下巻の2冊構成である。 ○ おおむね上巻は、一つの領域に集中して学習する単元を配列し、下巻は、各領域の学習を組合せ、総合的に展開する単元を配列している。 ○ 年間11単元 (第1学年下巻は5単元) 		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
		話すこと・聞くこと	16	29	29	30	30	25
		書くこと	17	42	43	41	28	35
		読むこと	66	122	128	134	138	128
		言語事項	15	37	38	35	30	24
		入門期	105					
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上下巻の2冊構成である。 ○ 一つの領域に集中して学習する単元と、各領域の学習を組合せ、総合的に展開する単元を配列している。 ○ 年間14単元 (第1学年下巻は8単元) 		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
		話すこと・聞くこと	14	22	24	22	22	22
		書くこと	18	32	36	40	38	47
		読むこと	48	91	97	111	109	114
		言語事項	28	62	66	62	62	55
		入門期	101					
三 省 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本編と「小学校の国語 学びを広げる」との2冊構成である。(第1学年のみ上下巻の2冊構成) ○ 一教材一領域に焦点化して配列している。 ○ 年間総単元数 第1学年：19単元(下巻) 第2学年：33単元 第3学年及び第4学年：35単元 第5学年：32単元 第6学年：33単元 		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
		話すこと・聞くこと	6	18	22	28	28	28
		書くこと	20	28	34	24	34	32
		読むこと	58	106	104	108	112	122
		言語事項	10	46	56	50	54	52
		入門期	103					
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上下巻の2冊構成である。 ○ 一つの領域に集中して学習する単元と、各領域の学習を組合せ、総合的に展開する単元を配列している。 ○ 年間総単元数 第1学年：11単元(下巻のみ) 第2学年：17単元 第3学年：16単元 第4学年：15単元 第5学年及び第6学年：13単元 		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
		話すこと・聞くこと	4	16	16	16	16	10
		書くこと	16	24	26	28	25	26
		読むこと	66	106	102	116	99	100
		言語事項	26	44	50	40	48	48
		入門期	117					
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年から第4学年までは、上下巻の2冊構成、第5学年及び第6学年は1冊である。 ○ 一つの領域に集中して学習する単元と、各領域の学習を組合せ、総合的に展開する単元を配列している。 ○ 年間総単元数 第1学年：10単元(下巻のみ) 第2学年：13単元 第3学年及び第4学年：11単元 第5学年及び第6学年：9単元 		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
		話すこと・聞くこと	4	19	17	23	16	11
		書くこと	14	33	27	23	22	28
		読むこと	85	137	136	139	129	114
		言語事項	15	43	52	44	38	39
		入門期	117					

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧発展的な学習の扱い方
方法	発展的な学習の扱い方, 教材の印の有無, 教材名, ページ数, 種類

	発展的な学習の扱い方	教材の印の有無 (※), 教材名, ページ数	種類
東書	○ 本編と関連させて, 複数の読み物を読ませる。	※ 発展的な学習の教材としての印はない。 巻末「ふろく 読書の部屋」 ○ 第1学年下「花さかじい」(8) ○ 第2学年上「あしたも友だち」(12) ○ 第3学年上「じゅげむ」(12) ○ 第4学年上「一つの花」(8) ○ 第5学年上「いわたくんちのおばあちゃん」(12) ○ 第6学年上「桃花片」(14)	○ 昔話 ○ お話 ○ 物語 ○ 物語 ○ 物語 ○ 物語
学図	○ 本編と関連させて, 複数の読み物を読ませる。	※ 発展的な学習の教材としての印はない。 巻末「資料編」 ○ 第1学年上「月よに」(4) ○ 第2学年上「夕日のしずく」(8) ○ 第3学年上「わたしたち手で話します」(12) ○ 第4学年上「りんご畑の九月」(10) ○ 第5学年上「父ちゃんの凧」(8) ○ 第5学年下「くじらから世界が見える」(6) ○ 第6学年上「ロシアパン」, 他1編 (14)	○ 物語 ○ 物語 ○ 物語 ○ 物語 ○ 物語 ○ 説明文 ○ 物語他
三省堂	○ 本編と関連させて, 複数の読み物を読ませる。	※ 第1学年 発展的な学習の教材としての印はない。 巻末「どくしよの森で」 ○ 第1学年上「ちょうちょうひらひら」, 他1編 (10) ○ 第1学年下「ろくべえまってるよ」, 他1編 (20) ※ 第2学年～第6学年 別冊「読書の森で」 ○ 第2学年「スーフと馬頭琴」, 他2編 (30) ○ 第3学年「えんぴつびな」, 他5編 (32) ○ 第4学年「一つの花」, 他5編 (34) ○ 第5学年「あいつの年賀状」, 他7編 (40) ○ 第6学年「仙人」, 他7編 (40)	○ お話他 ○ 物語他 ○ 民話他 ○ 物語他 ○ 物語他 ○ 物語他 ○ 物語他
教出	○ 本編と関連させて, 複数の読み物を読ませる。	巻末「ふろく 言葉のとびら 読書」 ○ 第1学年下「おじさんのかさ」(8) ○ 第2学年上「鳥のちえ」(4) ○ 第2学年下「ちょうちょだけに, なぜなくの」, 他1編 (10) ○ 第3学年上「森のスケーターやまね」(4) ○ 第3学年下「ソメコとオニ」, 他1編 (10) ○ 第4学年上「谷間にかかったにじの橋」, 他1編 (13) ○ 第4学年下「寿限無」, 他1編 (12) ○ 第5学年上「森林と健康」(4) ○ 第5学年下「雨ニモマケズ」(2) ○ 第6学年上「ブラッキーの話」, 他1編 (18) ○ 第6学年下「子供たちを救いたい」, 他2編 (33)	○ 童話 ○ 説明文 ○ 童話他 ○ 説明文 ○ 物語他 ○ 物語他 ○ 落語他 ○ 説明文 ○ 詩 ○ 物語他 ○ 伝記他

<p style="text-align: center;">光 村</p>	<p>○ 本編と関連させて、複数の読み物を読ませる。</p>	<p>※ 発展的な学習の教材としての印はない。 巻末「ふろく」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年下「まのいいりょうし」(4) ○ 第2学年上「いなばの白うさぎ」(3) ○ 第2学年下「十二支のはじまり」, 他1編(15) ○ 第3学年上「ばけくらべ」(4) ○ 第3学年下「とらとおじいさん」(10) ○ 第4学年上「茂吉のねこ」(12) ○ 第4学年下「額に柿の木」(5) ○ 第5学年 「幽霊をさがす」(11) ○ 第6学年 「宇宙飛行士一ぼくがいだいた夢」, 他1編(12) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昔話 ○ 神話 ○ 昔話 ○ 昔話 ○ 脚本 ○ 物語 ○ 昔話 ○ 物語 ○ インタビュー記事他
--	--------------------------------	---	---

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑨本文記述との適切な関連付けがなされた図表の活用
方法	文章とグラフや表の関連について考えさせる記述

第5学年		
	単元名及び活動内容 (ページ数)	取り上げているグラフや表とその活用に関する記述
東書	○ 「資料を読んで考えたことを書こう」 ・リーフレットから得た情報を生かして、ユニセフへの募金を呼びかける文章を書く。 (5)	○ 円グラフ「子どもたちが命を失う主な原因」 ・資料から文章を引用しているね。 ・資料から分かったことを、みんなによびかけるときの理由にも使っているね。
学図	○ 「表やグラフを使って伝えよう」 ・二つの市の月別平均気温の表やグラフを活用して、自分の考えたことを友達に伝える文章を書く。 (4)	○ 表「月別平均気温」 ○ 折れ線グラフ「月別平均気温」 ・初めに、自分がグラフを見て考えたことを書きましょう。そして、そう考えた理由を表やグラフの部分を示しながら文章に書きましょう。 *グラフで数値の差に注目しています。 *表で、具体的な数値を示しています。 *注目してほしいグラフや表の部分に色を付けています。
三省堂	○ 「メディアについて考える」 ・メディアの特徴について調べ、図や表、写真、絵などの資料を効果的に使って報告し合う。 (6)	○ 棒グラフ「インターネット利用人口の変化」 ・<話すとき> 伝えたい内容が明確に伝わるように、話の組み立てや資料のしめし方をくふうしよう。 ・<聞くとき> 資料の内容やしめし方に注意して、自分たちの報告とくらべながら聞こう。
教出	○ 「効果的に発表しよう」 ・文章や資料を読み、それらを参考にして自然保護についての自分の意見を書き、発表し合う。 (14)	○ 棒グラフ「暗門の滝をおとずれた観光客数の変化」 ・自分の意見をまとめるためには、まず、できるだけ多くの情報を参考にしながら、考えの根拠をはっきりさせていくことが大切です。 ・13ページから22ページまでの文章や資料から読み取ったことをもとに、自分の意見を短くまとめましょう。
光村	○ 「グラフや表を引用して書こう」 ・うらづけとなるグラフや表を用いて、「くらし」についての自分の意見を書き、友達と読み合う。 (4)	○ 棒グラフ「家庭からのゴミ排出量(総排出量)」 ○ 折れ線グラフ「家庭からのゴミ排出量(1人1日あたり排出量)」 ・<グラフや表を説明するとき> (1) 何を表すグラフや表なのかを、まず述べる。 (2) どのように示されているグラフや表なのかを説明する。 (3) 注目する言葉や数字を示す。 (4) 注目する言葉や数字が何を意味するかを言う。

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑩巻末資料の示し方
方法	巻末資料の示し方と三領域一事項ごとの内容

	巻末資料の提示の仕方	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと (■図書の紹介, □読み物資料)	言語事項等 (漢字一覧以外)
東書	「付録」として、 全学年の上巻・下巻 に示している。	○ 『『言葉の力』の まとめ』	○ 『『言葉の力』の まとめ』	■ 「こんな本もい つしよに」 □ 各学年の上巻に 「読書の部屋」と して掲載してい る。	○ 『『言葉の力』の まとめ』 ○ 「言葉の世界」
学図	「資料編」として、 全学年の上巻・下巻 に示している。	○ 「話し方・聞き 方・まとめ方」	○ 「話し方・聞き 方・まとめ方」	■ なし(本編中に 掲載) □ 各学年の上巻 (第5学年のみ 上・下巻)に掲載 している。	○ 「授業で使う言 葉」
三省堂	「学びを広げる」 として、第1学年は 上・下巻に示してい る。 「学びを広げる」 として、第2～6学 年は別冊に示してい る。	○ 「いつでもどこ でも」	○ 「いつでもどこで も」	■ 「読書の森で(小 さな図書館)」 □ 「読書の森で(読 書の時間)」	○ 「言葉の図鑑」 (第2～6学年) ○ 「言葉の海へ」 (第2～6学年)
教出	「付録 言葉のと びら」として、全学 年の上・下巻に示し ている。	○ 「表現」	○ 「ノート・メモ」 (各学年上巻)	■ 「(各学年)年生 で読みたい本」 □ 「読書」	○ 「言葉」 ○ 「言葉の仕事」 (第4～6学年)
光村	「付録」として、 第1～4学年は上・ 下巻に示している。 「学習を広げる」 として、第5～6学 年に示している。	○ 「身につけた力 を生かそう」	○ 「身につけた力 を生かそう」	■ 「この本、読も う」(第1～4学 年までは下巻) □ 第1～4学年ま では上巻か下巻の いずれかに、第5 ～6学年はそれぞ れに掲載してい る。	○ 「思ったことや 感じたことを表 す言葉」(第1～ 4学年下巻) ○ 「評価・判断や、 感情を表す言葉」 (第5～6学年)

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	①知識や経験に照らして自分の考えをまとめて論述する活動の工夫
方法	「手紙を書く活動」, 「報告文を書く活動」, 「詩, 物語, 随筆等を創作する活動」の単元名

	手紙を書く活動	報告文を書く活動	詩, 物語, 随筆等を創作する活動
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第2学年『ありがとう』をつたえよう ○ 第3学年「案内の手紙を書こう」他 ○ 第4学年「お願いやお礼の手紙を書こう」他 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年「わたしのはっけん」他 ○ 第2学年「二年一組, はつ明じむしょ」 ○ 第3学年「研究レポートを書こう」他 ○ 第4学年「みんなで新聞を作ろう」 ○ 第5学年「伝えよう, 委員会活動」 ○ 第6学年「ふるさとの良さをしようかいしよう」他 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年「ことばあそびをしよう」 ○ 第2学年「かんじたことを(詩)」「絵を見てお話を作ろう」 ○ 第3学年「お話を作ろう」 ○ 第4学年「連詩にちょうせんしよう」 ○ 第5学年「ふしぎな世界へ出かけよう(物語)」 ○ 第6学年「表現をくふうして書こう(詩)」「子ども句会を開こう」
学図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年「はがきをかこう」他 ○ 第2学年「知らせたいことを手紙に書こう」 ○ 第3学年「案内状を書こう」 ○ 第4学年「手紙を書こう—依頼状とお礼状—」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年「わたしのはっけん」 ○ 第2学年「地いきの行事を友だちにほうこくしよう」他 ○ 第3学年「今と昔をくらべよう」他 ○ 第4学年「見学したことを書こう」 ○ 第5学年「分かったことを報告しよう」他 ○ 第6学年「卒業レポートを書こう」他 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年「しをかこう」『音』をさがしておはなしづくり ○ 第2学年「しを書こう」「つづき落語ばなしを作ろう」 ○ 第3学年「詩を書こう」「写真が動き出す—写真から物語を作ろう—」 ○ 第4学年「詩を書こう」「人物を生き生きとえがき出そう(脚本)」 ○ 第5学年「わたし風『枕草子』」「これであなたも作家になれる—起承転結を学ぼう—」「短歌・俳句を作ろう」 ○ 第6学年「わたしが愛する〇〇—わたしの思いが伝わる随筆を書こう—」「『連詩』を発見する」「物語を作ろう」
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年「は・へ・を」他 ○ 第2学年「手紙をこうかんしよう」 ○ 第3学年「あんないの手紙を書こう」 ○ 第4学年「お願いやお礼の手紙を書こう」他 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年「みのまわりのいきもの」 ○ 第2学年「わたしのはっけん」他 ○ 第3学年「クラスのことを調べよう」 ○ 第4学年「新聞でニュースを伝える」 ○ 第5学年「見学レポート」他 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年「きよだいなきよだいな(物語)」 ○ 第2学年「きぜつライオン(物語)」「みんなの思い出(詩)」 ○ 第3学年「何をしているのかな(物語)」 ○ 第4学年「みんなの詩, わたしの詩」「故事成語の物語(物語)」 ○ 第5学年「このあと, どうなる?(物語)」「句会を楽しむ」 ○ 第6学年「自由な発想で—随筆—」「短歌を作る」
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第2学年「手紙でつたえよう」 ○ 第3学年「いろいろな手紙を書こう」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年「知らせたいことをかきましよう」他 ○ 第2学年「たんけんしたことをほうこくしよう」他 ○ 第3学年「調べたことをほうこくしよう」他 ○ 第4学年「見学したことを報告しよう」他 ○ 第5学年「新聞を作ろう」他 ○ 第6学年「学んだことを生かして調べよう」他 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年「おはなしのつづきをかこう」「みじかいことばでかこう(詩)」 ○ 第2学年「へんしんしてお話を作ろう」「かんじたことを詩に書こう」 ○ 第3学年「俳句に親しむ」「お話のすきな場面をくわしく書こう」「まわりに目を向けて詩に書こう」 ○ 第4学年「物語の作り方を工夫しよう」「はっとしたことを詩に書こう」 ○ 第5学年「自分を中心人物にして物語を書こう」「友達とのかかわりを詩に書こう」 ○ 第6学年「随筆を書こう」「俳句・短歌を作ろう」
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年「かけるようになった」 ○ 第3学年「手紙を書こう」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年「知らせたいな, 見せたいな」他 ○ 第2学年「かんさつ名人になろう」 ○ 第3学年「本で調べて, ほうこくしよう」他 ○ 第4学年「読書生活について考えよう」他 ○ 第5学年「次への一歩—活動報告書」 ○ 第6学年「ようこそ, わたしたちの町へ」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第2学年「お話のさくしゃになろう」「見たこと, かんじたこと(詩)」 ○ 第3学年「物語を書こう」 ○ 第4学年「野原の仲間になって(詩)」 ○ 第5学年「物語を作ろう」 ○ 第6学年「たのしみは(短歌)」「自分を見つめ直して(随筆)」

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑫学校図書館機能の活用
方法	学校図書館の活用の仕方について示されている記述の例

第3・4学年		
	単元名 (ページ数)	学習内容
東 書	○ 第3学年下巻付録 「目次やさくいんを使おう」(2)	・目次や索引の使い方
	○ 第4学年上巻 「図書館へ行こう」(2)	・本のラベルの数字と分類
東 書	○ 第四学年下巻付録 「いろいろな資料」(2)	・いろいろな資料(百科事典, 図鑑, 年鑑, 統計資料, 白書, 新聞・雑誌・インターネット)の使い方と留意点
	○ 第3学年上巻資料編 「図書室で本をさがそう」(2)	・本の分類と番号, 目次や索引の使い方, 調べた本の記録の仕方
学 図	○ 第4学年上巻資料編 「図書館を利用して調べようー地域の図書館へ行ってみようー」(2)	・地域の図書館の利用, 本の探し方(パソコン検索, 館内案内図, 司書)
	○ 第3学年 「図書かんへ行こう」(2)	・図書館の利用, 読書カードの書き方
三 省 堂	「本をさがそう」(2)	・本の探し方
	「図かんで調べよう」(2)	・目次や索引の使い方
三 省 堂	○ 第4学年 「図書館へ行こう」(2)	・掲示板, 展示コーナー
	「百科事典で調べよう」(2)	・百科事典の使い方
教 出	○ 第3学年上巻 「じょうほうをもとめて読む 本の仕組みを知ろう」(4)	・目次や索引の使い方, 読書カードの書き方
	○ 第4学年上巻 「じょうほうをもとめて読む 『じょうほうけいじ板』を作ろう」(4)	・本の分類(十進法分類法と分類記号, 本のラベルの見方), 読書カードの書き方, 情報掲示板の作り方
教 出	○ 第4学年上巻付録 「司書」(1)	・司書の仕事
	○ 第4学年下巻付録 「調べるときに便利なもの」(1)	・辞典, 事典, 図鑑, 電子辞書の使い方
光 村	○ 第4学年上巻 「本は友だち」(6)	・学校や地域の図書館の利用(案内図, 検索用コンピュータ, 本棚, 特別コーナー, 新刊紹介のコーナー, 図書館の人), 本の選び方, 本の紹介の仕方
	○ 第4学年下巻 「ほうこく書を書こう 本で調べて, ほうこくしよう」(8)	・事典, 図鑑, 科学読み物などの本の使い方(目次や索引の使い方), 本の探し方, 報告書の書き方